

令和6年（2024年）11月21日

姫路市長 清 元 秀 泰 様

姫路市事業評価監視委員会
委員長 吉 田 友 彦



公共事業の事業評価に関する意見の提出について

姫路市が実施した令和6年度公共事業の事業評価の内容について、姫路市事業評価監視委員会において審議を行った結果、次のとおり意見を取りまとめたので提出します。

事業評価対象事業に対する意見（令和6年度）

1. 国庫補助事業の再評価

	事業名	意見
(1)	都市計画道路 川手線（南1工区）	「事業継続」は妥当
(2)	都市計画道路 内環状東線	「事業継続」は妥当
(3)	都市計画道路 四ツ池線ほか1路線	「事業継続」は妥当
(4)	都市基盤河川改修事業 大井川	「事業継続」は妥当

【所見】

(1)	市民生活や経済活動に大きな影響を与える重要度の高い道路であることから、
(2)	利用者の利便性が損なわれることのないよう、早期の整備完了を目指していただきたい。
(1)	自転車通行帯を含め、十分な道路の幅員を設定して、安全性に配慮しつつ整備を進めていただきたい。
(2)	観光客の車両の増加にも対応できるよう、官と民が連携して、道路周辺の駐車環境に配慮しつつ整備を進めていただきたい。
(3)	小学校の通学路であることから、自転車や子供が隠れない見通しの良い植樹帯を設置するなど、安全性に配慮しつつ整備を進めていただきたい。

2. 都市再生整備計画事業等の事後評価

	事業名	意見
(1)	姫路城周辺地区 都市再生整備計画	「事後評価手続き」及び「今後のまちづくりの方策」とともに妥当
(2)	JR 網干駅周辺地区 都市再生整備計画	「事後評価手続き」及び「今後のまちづくりの方策」とともに妥当

【所見】

(1)	まちづくりの目標を数値化する指標について、次期計画においては、目標の達成度がよりわかりやすい指標の設定を検討し、より良いまちづくりに役立てていただきたい。 都市計画担当部署と事業担当部署の関係部署が連携し、観光、環境、産業政策等各種の課題に取り組むことが必要である。市民、観光客が共に潤うまちづくりに期待する。
(2)	まちづくりの目標を数値化する指標について、次期計画においては、地域の現状に応じた適切な指標の設定を検討し、より良いまちづくりに役立てていただきたい。 駅前広場の早期の整備完了を目指し、姫路市の「西の玄関口」としてふさわしい駅周辺地区となるよう、計画及び整備を進められることを期待する。